

令和6年度 事業報告

○公益社団法人下松市シルバー人材センター

1 概況

我が国においては、少子高齢化の進展、高齢者人口が増加する中、高齢者を含めた働き方改革等諸施策を推進し、誰もが生きがいをもって充実した生活を送ることができる「生涯現役社会」づくりを目指した動きが活発になってきており、高齢者が培ってきた知識や能力を活かして地域に密着した仕事に就き、ボランティアなど様々な社会活動に参加・貢献する組織として、シルバー人材センターの役割もさらに増してきています。

しかし、近年のシルバー人材センターを取り巻く環境は、民間事業所での適正就業の推進、雇用の延長等によって、新規会員の加入が伸び悩むなど厳しい状況が続いています。令和6年度は、「特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律」いわゆるフリーランス新法が施行され、当センターにおいても発注者とセンターと会員の3者の包括的契約方式への移行を準備する1年となりました。

会員の減少が続いている状況下で地域のニーズに対応するため、当センターでは会員・役職員が一丸となって、地域社会の期待と信頼に応えながらシルバー人材センター事業の推進を図るべく、就業機会の確保に努めました。

以下、令和6年度事業実施概要について報告します。

(1) 会員の動向

会員の状況は、新たに45人の入会者がありましたが、退会した会員が46人で、年度末会員数416人（男性279人、女性137人）となり、前年度末の417人と比べ1人の減となりました。

(2) 事業実績

受託事業の事業実績は、受注件数1,653件で、前年度の1,721件に対して、68件の減、契約金額は約2億1,007万円で、前年度の約1億9,842万円から約1,165万円の増となりました。

労働者派遣事業の事業実績については、受注件数32件で、15事業所へ35人の会員を派遣しており、契約金額約1,849万円で、前年度の約2,067万円から約218万円の減となりました。

受託事業及び労働者派遣事業の契約金額の合計が約2億2,856万円で、前年度の約2億1,908万円から約948万円の増となりました。

なお、収支決算については、経常収益計が約2億6145万円、経常費用計が約2億5,745万円で、約400万円の増となりました。

就業率については、82.9%となり、前年度の84.7%から1.8ポイントの減となりました。

(3) 組織体制の充実強化

第4次中期基本計画に掲げる課題の実現と計画の推進に向けて、総務・広報・就業開拓・安全の各委員会を中心に、組織の活性化に取り組みました。

会報「星のさと」「事務局だより」等を配付し、会員への情報提供と連帯意識の高揚を図りました。

独自事業として、引き続き、正月飾り製作班の輪飾り・しめ縄づくり、布倶楽部の布製品・小物づくり、木工品製作班の木工品づくりの各事業を実施しました。

(4) 就業開拓の推進

就業開拓推進員により、官公庁、民間企業及び一般家庭等を逐次訪問し、就業情報を収集し、就業機会の開拓に努めました。また、未就業の会員を対象とした「共同作業」を令和7年3月17日に実施し、未就業会員が一人でも多く就業するきっかけとなるように取り組みました。

(5) 普及啓発活動

市の広報やマスメディアを活用し、シルバー人材センター事業の普及啓発に努めました。10月の普及啓発促進月間では、「シルバーの日」である10月19日（土）に天候不良のため役員を中心としたボランティア奉仕作業を行い、センターから末武大通りの道路清掃を実施しました。

また、11月11日（月）に「第16回グラウンド・ゴルフ大会」を主催し、一般市民との交流、センター事業の周知を図りました。

(6) 安全・適正就業の推進

安全就業については、「事故ゼロ」を目標に掲げて「安全だより」の発行及び安全パトロールを実施し、安全への周知徹底を図りました。

しかしながら、会員の負傷事故が11件、物損事故が3件発生しました。

会員・役職員が一丸となり、今後もなお一層事故の防止に努める必要があります。

また、「安全・適正就業推進大会」は、7月12日（金）に開催しました。

適正就業については、会員への適正就業基準の周知及び発注者への適正就業ガイドラインを活用した周知と理解の促進に努めました。

(7) 福利厚生事業

会員相互の親睦交流を図るための「日帰り親睦旅行」は、広島方面で企画しましたが、応募人数が定員に満たなかったため中止となりました。

また、会員研修会・親睦会については、令和7年2月15日（土）に開催し、会員相互の交流を深めることができました。

○ 下松市勤労者総合福祉センター

1 概 況

(1) 施設の利用促進

新型コロナウイルス感染拡大防止のための対策を講じながら、センターの有効かつ公平な利用を図るため、市をはじめ各関係団体及び一般市民の協力を得ながら利用者の増加に努めました。

(2) 施設の維持管理

令和3年度に大規模改修工事を実施した後は、日常点検及び各専門業者による点検委託を実施し、建物の維持管理に努めました。

(3) 施設の利用状況

体力づくり

体力増進、健康保持のため、体操教室の開催及び卓球、バドミントンなどスポーツの場としての利用を図りました。

(4) 就業支援

ハローワークの求職情報を掲示するとともに、技能講習会場としての活用に努めました。